

第二延山小学校のみなさん、おはようございます。

今朝は、ある『ビワ』のお話をします。

このビワ、5月21日に、学校の“さいたさん”という方からいただきました。

さいたさんは、学校でいろいろな事務をしてくださっている方で、ずっと前にお子さんがこの第二延山小学校に通っていた元保護者の方で、地域に住んでいらっしゃいます。



さっそく皮をむいて食べてみると、瑞々しくて甘くて、それはそれはおいしくてびっくりでした。

ところでこのビワ、ただのビワではありません。

今から13年前、さいたさんのお子さんがあるこの第二延山小学の2年生だった時に給食でビワが出て、そのビワの種をお家にもって帰って庭にうえたものが大きな木に育って、そこになったビワだったのです。

ビワの木は、今はもう3メートル以上の高さになっているそうです。

皆さんの大先輩が、13年も前にふと思立って地面にうめてみた種がこんなに大きくなって、今になって私たちをこんな風に楽しませてくれていることが、なんだかとてもうれしくて、このお話をぜひ皆さんにしたいと思いました。



食べ終わったあとに残った種を、とってあります。学校の中のどこかに、そっとうめてみたいなど考えています。そのときは皆さんに、お知らせしますね。